

## 県職員の働き方改革 (新たなパーソネルマネジメントの構築)

### ① 多様な働き方の推進

【拡充】テレワークの推進  
(30予算 12百万円)

#### サテライトオフィスの増設

- 場所: 橿原総合庁舎(29から継続)  
本庁周辺(30新設)



#### モバイルワークの本格導入

- 台数: 100台(各部局等に配備)



#### フレックスタイム制の推進

総勤務時間を維持し出退勤時間を調整

<利用者(～H29.12)>

のべ975人、実263人

<利用例>

・朝型勤務

生活リズムに合わせ作業効率向上

・柔軟な勤務時間

業務の繁忙対応

妻や夫と家事・育児分担

### ② 超過勤務の縮減・効率的な業務運営

#### 全庁的な超過勤務縮減対策

- 事前命令と事後確認の徹底
- 全庁的な取組の共有と対策の推進
- 労使連携での取組
  - ・定時退庁日の職場巡回
  - ・毎月19日19時完全消灯等

#### ②-1【新】業務改善スキル習得・発揮研修の実施 (30予算 1百万円)

- 業務改善の具体的スキルを実践・普及

#### ②-2【新】業務効率化推進事業 (30予算 2百万円)

- 自動化ツール等の導入を検討

- 管理職の人事評価に「業務の効率化」に関する着眼点を追加

### ③ 外部委託の推進

【拡充】定型的業務の外部委託化  
(30予算 113百万円)※新規・拡充分

職員が担うべき本格的業務に注力

30新規・拡充: 計23人分

<外部委託化の目的・効果>

業務の効率化

業務の質の向上

業務量の増加に対応

<30～外部委託化の業務例>

- 福祉サービス事業所等の指定業務等
- 児童扶養手当等の支給業務

### ④ メンタルヘルス対策 (30予算 9百万円)

#### 職員のワーク・エンゲイジメントを高める取組の充実

##### 実態把握・予防的対策

- 【充実】  
ストレス対処法の理解を深める全庁的な研修等の実施  
・ディスカッションやロールプレイでストレス不調を未然に防ぐ対処法を理解
- 【新規】  
職場のストレス要因を分析し、職員参加で改善  
・全職場で調査・分析し、専門家が職場の主体的改善策を個別支援

##### 早期発見・早期対応

- 【新規】  
チェックシートや申告書を活用した早期発見  
・上司の気づきや職員等からの相談の機会を更に増やす
- 【充実】  
産業医等を中心に効果的に指導・支援を実施  
・様々な情報を元に、不調者や上司に、より丁寧な指導等を実施

##### 職場復帰・再発予防

- 【充実】  
職場復帰支援制度  
・メンタルヘルス不調者が職場復帰する際に実施する、審査会の前後におけるフォローを充実

#### 一体的に対応する組織体制の構築

- ・人事課及び総務厚生センターの連携体制を強化し、人事課に相談窓口を設置

### ⑤ 教職員の働き方改革

#### 教員が子どもと向き合う時間の確保

- ⑤-1【新】部活動指導員の配置 (30予算 38百万円)  
・県内公立中学校に部活動指導員を配置
- ⑤-2【新】教職員の働き方改革の推進 (30予算 9百万円)  
・働き方改革の取組を実践研究



<部活動の指導の様子>

### ⑥ 県立医科大学における働き方改革

#### ワークライフバランスの充実強化

医療勤務環境の改善に関する検討、【新】出退勤管理システムの導入

<問い合わせ先>

- 総務部  
人事課 常田補佐(内線:2173)、情報システム課 柳澤補佐(内線:2666)・・・①  
人事課 常田補佐(内線:2173)・・・②-1  
行政経営課 奥田補佐(内線:2190)、情報システム課 柳澤補佐(内線:2666)・・・②-2  
行政経営課 奥田補佐(内線:2190)、人事課 常田補佐(内線:2173)・・・③  
人事課 常田補佐(内線:2173)、総務厚生センター 瓜阪主幹(内線:2172)・・・④  
教育委員会事務局  
保健体育課 喜多補佐(内線:5311)・・・⑤-1  
教職員課 春木主幹(内線:5232)・・・⑤-2  
医療政策部  
病院マネジメント課 森本補佐(内線:3162)・・・⑥

# 教育予算の充実（地方消費税清算金増の県民への還元）

H30: 2, 126百万円 (H29: 1, 517百万円)

- 平成30年度税制改正では、地方消費税の清算基準の見直しにより、人口比率50%への大幅な引き上げが実現。
- その結果、奈良県の平成30年度予算では、**36.7億円**の増収となった。  
(うち**18.4億円**は市町村に交付され、市町村の一般財源の底上げとなる。)

## 教育予算の充実という形で、県民に還元

### 県の取組

#### ①全ての県立高校で空調設置を実現

(H30予算: 323百万円)

- ・県立高校全校に空調を整備
- ・【新】育友会等設置分の運転費用を県で負担



<空調設置教室での授業の様子>

#### ②県立高校の耐震化を速やかに実施

(H30予算: 974百万円)

- ・耐震補強をH33年度を目処に完了
- ・【新】耐震補強が難しい校舎等の改築に着手



<耐震化の完了した校舎>

#### ③私立高校等授業料に対する支援の拡充

(H30予算: 235百万円)

- ・私立高校等の授業料に対する支援について、本県の実情を踏まえ拡充

### H31年度以降も引き続き教育環境を充実(トイレの洋式化 など)

#### <その他の教育関連新規事業>

##### ◆安心・安全で質が高い教育環境の充実

- ④ICTを活用した教育の推進(生徒用・教員用パソコンの整備、【新】情報セキュリティの強化、【新】校務支援システムの導入) (H30予算 486百万円)
- ⑤【新】県立高校の配置適正化の推進 (H30予算 2百万円)
- ⑥【新】高大連携による次代の教育を担う教員の育成 (H30予算 1百万円)
- ⑦【新】県内公立学校へのコミュニティ・スクールの導入促進 (H30予算 1百万円)
- ⑧【新】次期学習指導要領に向けた主体的・対話的で深い学びの推進 (H30予算 1百万円)
- ⑨【新】定時制高校等と連携した多様な学習ニーズに応じた指導方法の確立 (H30予算 6百万円)

##### ◆実学教育の推進

- ⑩【新】次代を担うスペシャリストの育成(DMG森精機との連携協定に基づく工業機器の導入・活用、DMG森精機から講師を招聘し実践的な人材を育成) (H30予算 43百万円)
- ⑪離職者対策の推進(【新】再就職支援教員を配置、【新】離職原因に関するアンケート調査の実施、キャリアサポートセンターでの相談支援の実施) (H30予算 9百万円)

##### ◆教員が子どもと向き合う時間の確保

- ⑫【新】県内公立中学校に部活動指導員を配置 (H30予算 38百万円)
- ⑬【新】教職員の働き方改革の取組を実践研究 (H30予算 9百万円)

### 市町村の取組

- 市町村立小・中学校の空調整備、老朽化に伴う大規模改修、トイレ改修 等

#### ⑭県が市町村振興資金の貸付により後押し

- ・市町村振興資金の拡充分により対応  
(H29予算 500百万円→H30予算 1,000百万円)

#### <問い合わせ先>

- ①、②…学校支援課(教育委員会): 山口主幹(内線: 5281) ③…教育振興課(地域振興部): 中野補佐(内線: 2521) ④、⑤、⑥…教育振興大綱推進課(教育委員会): 荒木補佐(内線: 5251)
- ⑦…人権・地域教育課(教育委員会): 細井補佐(内線: 5292) ⑧、⑨、⑩、⑪…学校教育課(教育委員会): 大石補佐(内線: 5251) ⑫…保健体育課(教育委員会): 喜多補佐(内線: 5311)
- ⑬…教職員課(教育委員会): 春木主幹(内線: 5232) ⑭市町村振興課(地域振興部): 吉川補佐(内線: 2254) 地方消費税清算金に関すること…税務課(総務部): 岡山補佐(内線: 2233)

# 県立大学における教育環境の充実強化

H30: 735百万円 [債務負担行為 1,080百万円]  
(H29: 378百万円)

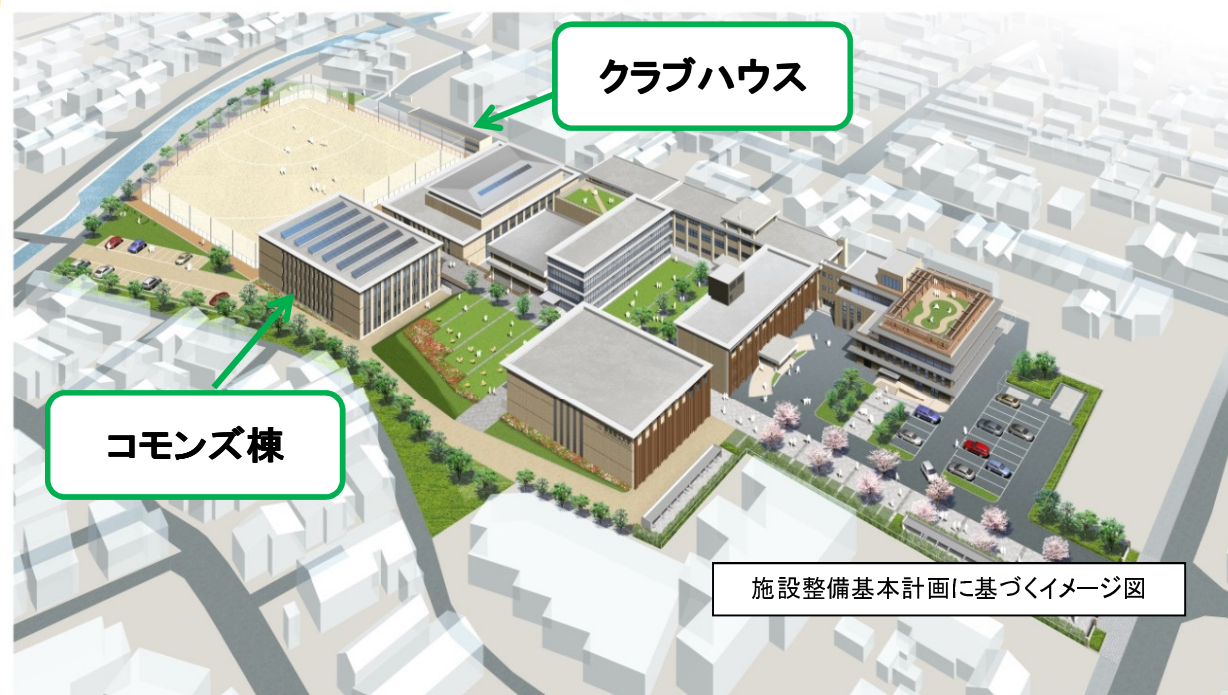
奈良県立大学における教育改革を加速させるため

- 国内外における「フィールドワーク」先を充実させ、地域課題に主体的に取り組む人材を育成
- 欧米系海外大学等交換留学協定先の更なる開拓により、国際社会で活躍する人材を育成
- 「対話型少人数教育(コモンズ制)」を推進するとともに、拠点となる「コモンズ棟」等を整備
- 奈良県の観光産業を担う専門人材の育成を推進
  - 実践的なカリキュラムを検討
  - 社会人が大学で学び直すための「フレックスコース(仮称)」の設置を準備

など

## 平成30年度予算の概要

- 運営費交付金 255百万円
- 中期目標関連費補助金 97百万円
- 施設整備 (コモンズ棟・クラブハウス等)  
383百万円  
(債務負担行為1,080百万円)



〈問い合わせ先〉  
地域振興部 教育振興課 岡田課長補佐(内線2576)、山下係長(内線2533)



## 企業誘致・販路拡大・起業促進・ 商品開発支援・漢方生産拡大の推進

### ■企業誘致

- 京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺工業ゾーンプロジェクト[50]  
事業用地の取得及び造成工事の推進等
- 京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺工業ゾーンプロジェクト[25]  
企業・デベロッパーの誘致促進、工業ゾーン用地確保のための耕作放棄地再生  
⑧特定農業振興ゾーンの設定支援等
- 戦略的な企業誘致活動[18]  
知事トップセミナーの開催（東京、大阪）等
- 骨格幹線道路ネットワークの形成[13, 908]

### ■国内外への販路拡大

- 〈海外〉○⑧ジェットロ奈良県事務所の誘致（平成30年秋開設予定）、海外展開する際のテスト販売やマーケット調査及び展示会への出展支援[29]
- 香港Food Expoへの県産農産物出展支援等[9]
- 県産材の東南アジアへの輸出拡大に向け、建築関係者・バイヤー・企業等とのマッチング支援等[8]
- 〈国内〉○東京国際ギフトショーへの県内企業出展支援、首都圏でのSPA（企画・製造・小売を一貫して行うビジネスモデル）実践支援[7]
- 大田市場等での県産農産物トップセールス、⑧首都圏の自治体と連携したPR、「ときのもり」を活用したPR等[42]
- 早稲田大学や協力企業と連携した県産材首都圏PRイベントの実施、有名建築家と巡る「奈良の木」見学ツアーの開催等[25]



企業立地の魅力が高まる下ツ道ジャンクション



香港 Food Expo 2017

### ■起業の促進

- 意欲ある起業家への金融支援（貸付枠30億円）[38]  
女性・若者・シニア・U I J ターン 創業支援資金、創業支援資金、事業承継支援資金
- 女性起業家への支援[2]  
女性起業家養成セミナー、販売促進セミナー、女性チャレンジショップ出店講座の開催
- ⑧新たに就農を希望する女性の支援[3]  
農業参入の講義に農作業や加工・販売体験を組み合わせた実践的なセミナーを開催
- ⑧新規就農者の初期投資に対する支援[15]  
園芸施設や農業用機械のリースでの導入を支援

### ■高付加価値商品の開発・販売支援

- 新しい商品やサービスを生み出す研究開発の促進[17]  
⑧研究分野統合本部の設置、⑧研究開発への金融支援（貸付枠5億円）  
研究成果の技術移転促進コーディネーターの設置、産業振興総合センターでの研究開発等
- 県内企業の高付加価値商品開発支援[18]  
奈良県産「ご当地食品」の開発支援、I o T を活用した商品・サービスの開発支援等
- I o T の活用[29] 【一部2月補正】  
⑧I o T ・ A I 関連機器を産業振興総合センターに整備し、県内中小企業の生産性向上を促進等
- クラウドファンディングの活用支援[3]  
クラウドファンディングを活用して資金調達を図る中小企業者等を支援
- ⑧優良製品の認知度向上・販路拡大[2]  
マーケティング講座の開催、大規模商業施設・まほろば館での展示販売会の実施
- ⑧地元企業と連携した共同研究の促進[7]  
連携協定に基づきDMG森精機(株)から無償貸与される最新工業機器を活用した技術の高度化

### ■漢方のメッカ推進プロジェクトの推進

- 薬用作物の生産拡大、生薬原料のブランド化と流通強化、漢方関連製品の商品化とプロモーション[36]  
⑧トウキ単味エキス製剤の有用性の検証・販路拡大等



企業立地セミナー in 東京



葉の活用も注目される大和トウキ

## 就業支援と働き方改革

### ■ターゲットごとの就業支援の充実

- 〈女性〉○なら女性活躍推進倶楽部会員企業と連携した取組の推進[8]  
 ㊦女性が働きやすく働きがいのある環境づくりのためのセミナー開催  
 ㊦再就職希望女性ワーク&ライフ交流会開催等  
 ○子育て中の女性の就労支援[18]  
 就職支援窓口の運営、キャリアコンサルタントによる就職相談等  
 ○企業が設置する保育施設における保育料軽減の取組を支援[27]  
 〈若者〉○高校生・大学生の就職支援[4]  
 大学3年生と企業若手社員との座談会を開催、有給インターンシップの促進等  
 〈障害者〉○企業や社会福祉法人等との連携による就労支援の充実[73]  
 「障害者はたらく応援団なら」の運営、県内企業による特例子会社設立支援  
 授産商品等の共同販売会の開催、㊦農福連携マルシェの開催等

### ■離職者の就業支援の充実

- 窓口での再就職支援[76]  
 県庁版ハローワークの運営、県内就労あっせん・起業支援センターの運営  
 ○高等技術専門学校等での職業訓練の充実[423]  
 ○高卒離職者への支援[9]  
 ㊦再就職支援教員の配置、㊦離職原因に関するアンケート調査の実施等

### ■働き方改革の推進

- 県内事業所における働き方改革[4]  
 ㊦働き方改革研究会の開催、事業所への専門家の派遣、㊦業種別ワークショップの開催等  
 ○県庁における働き方改革[205]  
 テレワーク等による多様な働き方の推進、超過勤務時間の縮減及び効率的な業務マネジメントの推進、外部委託の推進、メンタルヘルス対策等  
 ○㊦教職員の働き方改革[47]  
 公立中学校への部活動指導員の配置、公立小中学校における業務改善モデルの検討等



「なら女性活躍推進倶楽部」女性活躍推進トップフォーラム



東京での就職相談会

## すべての人が生涯良く学び続けられる 地域社会づくり

### ■実学教育の充実

- インターンシップの拡大[15]  
 高校生のインターンシップを推進するキャリアサポートセンターの運営、特別支援学校に  
 キャリア教育コーディネーターを配置、福祉系学校の生徒による介護現場実習の実施等  
 ○県立高校等の職業教育環境の充実[52]  
 ㊦連携協定に基づきDMG森精機(株)から無償貸与される  
 最新工業機器を授業に活用等  
 ○㊦今後の奈良県を支える質の高い職業人の育成[2]  
 学識経験者や産業界との検討会議の開催等



工業高校生の金属加工工場での  
インターンシップ

### ■教育力の充実

- 県立高等学校の空調設備の整備推進[323]  
 県立高等学校全校に空調を整備、㊦育友会等設置分の運転費用を県で負担  
 ○県立高等学校の耐震化等の推進[974]  
 平成33年度を目処に耐震補強を完了、㊦耐震補強が難しい校舎等の改築に着手  
 ○県立学校のICT環境の整備推進[486]  
 生徒用・教員用PCの配備、㊦情報セキュリティの強化、㊦校務支援システムの導入  
 ○総合教育会議の運営及び奈良県教育サミットの開催[22]  
 ○就学前教育の推進[22]  
 就学前教育センターの運営、㊦「奈良県版就学前教育プログラム」の実践・検証と普及  
 幼児運動プログラムの普及等  
 ○不登校・いじめ対策[135]  
 スクールカウンセラー・スクールサポーターの配置、大学生ボランティアの派遣等  
 ○㊦公立中学校への部活動指導員の配置[38]  
 部活動の質向上及び教員の負担軽減のため、公立中学校に部活動指導員を配置

### ■私学の振興

- 私立学校・幼稚園教育経常費補助、私立高等学校等授業料軽減補助、  
 私立小学校・中学校等への就学支援等[9, 638]  
 ㊦私立高等学校等授業料に対する支援を拡充

### ■県立大学の充実

- 教育環境の充実強化[415]  
 コモンズ棟・クラブハウスの整備(平成31年度中に完成)  
 ㊦観光産業を担う専門人材の育成  
 シニアカレッジの充実等  
 ○東アジアサマースクールの開催支援[25]  
 東アジア各国の若い世代を対象とした短期集中型セミナーの  
 開催を支援



県立大学シニアカレッジ